

令和3年5月28日

熊本県中学校体育連盟剣道競技専門部

## 令和3年度熊本県中学校総合体育大会 新型コロナウイルス感染拡大予防 剣道競技大会ガイドライン

熊本県中学校総合体育大会剣道競技大会では、本ガイドラインに則り、感染拡大予防対策を行います。来場するすべての方々（参加校はもちろん、応援者も含む）におかれましても、本ガイドラインを遵守し、感染拡大予防対策を徹底して頂きますようお願いいたします。

本ガイドラインは、下記ガイドライン等を踏まえて作成しています。今後の知見の集積及び新型コロナウイルスの感染状況により、随時見直すことがあり得ることにご留意下さい。

- ・「学校の新しい生活様式（2020.12.3 Ver.5）」 文部科学省
- ・「社会体育施設の再開に向けた感染拡大予防ガイドライン（令和2年9月29日改訂）」 スポーツ庁
- ・「スポーツイベントの再開に向けた感染拡大予防ガイドライン（令和2年10月2日改訂）」  
日本スポーツ協会・日本障がい者スポーツ協会
- ・「令和2年度（公財）日本中学校体育連盟 全国中学校体育大会実施上の COVID-19 感染拡大予防ガイドライン」（公財）日本中学校体育連盟
- ・「主催大会実施にあたっての感染拡大予防ガイドライン」（公財）全日本剣道連盟

### 1 大会実施に当たっての基本的な考え方

大会の実施に当たっては、上記ガイドライン等を参考に、熊本県中学校総合体育大会実施に当たっての基本的な考え方に基づき、新型コロナウイルス感染症の感染拡大予防対策を講じることとします。

#### 【 大会実施に当たっての基本的な考え方 】

- ・感染源を絶つ
- ・感染予防の3つの基本（身体的距離の確保、マスクの着用、手洗い等の徹底）
- ・3つの「密」（密閉空間、密集場所、密接場面）の回避
- ・安全な活動環境等の確保

### 2 大会実施時の感染予防策について

#### (1) 大会参加者（選手、引率者、大会役員）

- ① 風邪の症状（発熱、咳、鼻汁、咽頭痛、頭痛等）がある場合は参加できない。
- ② 各校の選手や引率者等の2週間分の体調を記録した体調記録表（別紙1）を提出する。
- ③ 大会当日受付時に、学校同行者当日体調記録表（別紙2）を提出し、選手や引率者の体調を確認する。また、大会中、選手や引率者等に体調不良がある場合は、大会本部に申し出る。
- ④ 引率者等は、集合時から解散時まで選手の健康観察を徹底する。
- ⑤ 主催者及び引率者等は、大会中に選手等の体調不良を確認した場合、大会救護係や医療機関及び保護者等と連携し、安全に帰宅させるなどの対策を講じる。

## (2) 大会関係者（来賓、報道、応援者等）

学校同行者当日体調記録表（別紙2）に記載された者以外の来場者は、受付で来場者体調記録表（別紙3）の提出をする。また、来場後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに報告すること。

## (3) 感染防止の3つの基本

### ① 身体的距離の確保

ア コロナ禍においては、競技開始式は簡素化して実施する。

イ 監督会議等を実施する場合、人と人との間隔が、できるだけ2メートル（最低1メートル）空くよう、椅子の配置等を工夫する。

ウ 引率者等は、集合時、待機中、休憩中及び食事中などにおいて、選手同士の間隔ができるだけ2メートル（最低1メートル）空くように指導する。

エ 仲間と手を繋いだり、肩を組んだりして行う円陣、ハイタッチなどの実施を制限する。

### ② マスクの着用

ア 大会役員、選手、引率者等及び大会関係者は必ずマスクを着用する。選手の競技実施時は、「面マスク」と、鼻と口を覆う程度の大きさのシールド（マウスシールド）の着用を義務付ける。目を覆うシールド（アイシールド）の使用については、各選手の判断に任せるととする。引率者等は、常時マスクを着用し、大声を上げてのかけ声や指導、声援を控えることとする。

イ 熱中症等の健康被害を防ぐため、延長戦については、次のように時間を設定する。

#### 【個人戦および団体戦代表戦での対応】

（延長戦は2分ずつ区切る。）

試合時間3分 ⇒ 延長2分 ⇒ 延長2分 ⇒ 【小休止（深呼吸をする程度）】 ⇒  
⇒ 延長2分 ⇒ 延長2分 ⇒ 【面を外しての休息・給水（3分）】 ⇒  
⇒ 延長2分 ⇒ 延長2分 ⇒ 【小休止（深呼吸をする程度）】 ⇒  
⇒ 延長2分 ⇒ 延長2分 ⇒ 【面を外しての休息・給水（3分）】 ⇒  
※以上の流れで試合の続く限り繰り返す

ウ 選手の健康観察を行うとともに、給水時間を設定する。その際、給水用の飲み物は各自持参したものとする。（試合場後方に水筒置場を設置する。）

### ③ 手洗い等の徹底

ア 選手、引率者等及び大会関係者がこまめに手洗いを行うことができるよう、代表者会や監督会議、または場内アナウンス等で選手や引率者等に手洗いを促す。

イ 参加者に手洗い後に手を拭くためのマイタオル等を持参するよう周知徹底する。

ウ 引率者は大会期間中、こまめに流水と石けんで手洗いを行うよう、選手に指導する。

#### (4) 3つの「密」(密閉空間・密集場所・密接場面)の回避

- ① 大会会場への入場は登録された選手、引率者等及び大会関係者を原則とし、その他の入場者については、感染状況に合わせて主催者が判断する。
- ② 引率者等は、バスによる移動の際、密閉空間にならないよう、定期的に換気をしたり、乗車人数を減らすなどの工夫をする。
- ③ 更衣室で選手が密集しないよう、一度に利用できる人数を制限する。
- ④ 1時間に2～3回程度、会場のドアや窓を開け換気を行う。
- ⑤ **参加チーム及び個人は試合終了後は速やかに帰宅する。**

#### (4) 安全な活動環境等の確保

- ① 参加校は大会の趣旨、感染拡大予防ガイドラインを踏まえた上で、参加同意書(別紙4)を提出する。
- ② 大会会場へ入場する保護者については、来場者体調記録表(別紙3)を記録の上、来場毎に主催者に提出する。
- ③ 引率者等は、選手の体調不良や救急搬送等の事態が発生した場合は、引率者等から保護者へ速やかに連絡がとれるようにする。